

図書だより

1、図書室の利用についての案内

令和6年5月10日 発行
兵庫県立飾磨工業高等学校 図書部

☆ 図書室について

場 所：本館1F

開館時間：昼休み(12:30~13:05)

放課後(掃除終了後~16:50)

使用目的：図書の閲覧・貸出・自習
PC利用(インターネット接続)



☆ 開館時は、気軽に覗いてみて下さい。

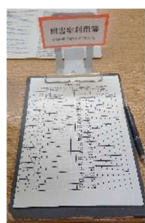


☆ 館内配置図

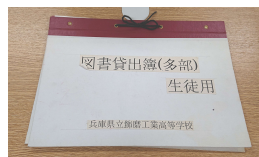
☆入室後は、まず司書席へ

①手指消毒

②図書室利用簿の記入



※ パソコンの利用や、図書の貸出・返却もこちらで行います。



③鞆置き場に鞆を置く

〈雑誌コーナー〉

- ・Number ・Newton
- ・オートメカニック
- ・電子工作マガジン
- ・旅と鉄道
- ・たくさんのふしぎ
- など



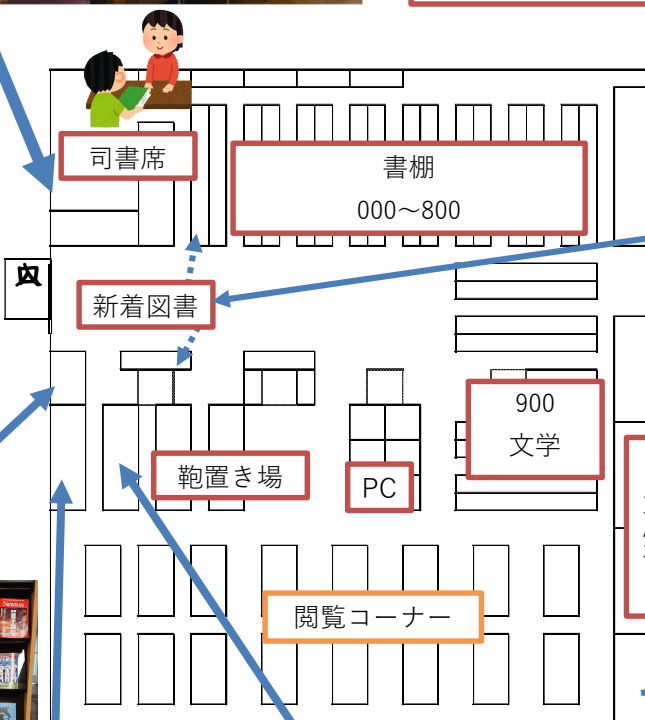
〈企画コーナー〉

- ・芥川賞・直木賞等、受賞作品 ・本屋大賞受賞作品



本の配置は、「日本十進分類法」によって、
000 総記 100 哲学 200 歴史 300 社会科学
400 自然科学 500 技術 600 産業 700 芸術
800 言語 900 文学 の順番に並んでいます。

900 文学は、更に作者名順に並び、文庫本のコーナーにもあります。



〈新着図書〉

新しく図書室に入った本を並べています。



〈おすすめ本コーナー〉

・図書委員のおすすめや、図書部の先生方のおすすめを置いています。今は、本を紹介するPOPも展示していますので、是非、ご覧ください。



利用上の注意事項

- ・入室時はスリッパに履き替えて下さい。
 - ・入退室時には挨拶を心掛けましょう。
 - ・室内では静かにしましょう。
 - ・室内での飲食は禁止です。
- ※皆さんにとって、快適な場所となるよう、各自で配慮をお願いします。

パソコンの利用について

ノートパソコンでインターネットの閲覧ができます。
閲覧中心で、印刷はできません。

<開始時>

- 1、司書席にある「パソコン利用簿」に記入して、司書の先生の許可を取る。
- 2、マウスを借りる場合は申し出る。
- 3、パソコンコーナーの注意事項を読んで、使用する。

<終了時>

- 1、パソコンのログアウトを行う。
- 2、マウスを使用した場合は、コードをまとめて返却。
- 3、「パソコン利用簿」に終了時間を記入する。

図書の貸出と返却について

<貸出>

- 1、貸出する本をカウンターに持参。
- 2、貸出簿に、貸出日・登録番号・分類番号・タイトル・学年組・氏名を記入。
- 3、係の者から、返却日を記入した紙を受け取り貸出。

<返却>

- 1、返却する本をカウンターに持参。
- 2、貸出簿に、返却日を記入し、係の者に確認してもらう。
- 3、返却スペースに本を置いて、返却完了。

※ 貸出は、一人2冊まで、貸出期間は一週間です。



☆新着図書は、本館3F 職員室付近の掲示板に掲示しています。図書の新着は、一ヶ月に一回ぐらいの頻度ですが、様々なジャンルの本が入ります。是非、様々な本や知識に触れて下さいね。



○ 令和5年度新着図書(一例) ○

- ・ 定期購入：毎日新聞、スポーツ雑誌『Number』、科学雑誌『Newton(ニュートン)』、『電子工作マガジン』
『オートメカニクス』、月刊誌『たくさんのふしぎ』、旅行誌『旅と鉄道』
- ・ マンガでわかる人工知能
- ・ ゼロからやりなおし!日本史見るだけノート
- ・ 『播磨国風土記』の古代史
- ・ 乙種第4類危険物取扱者合格教本
- ・ 最強の食材コオロギフードが地球を救う
- ・ トコトンやさしい自動運転の本
- ・ 答えられないと叱られる!? チコちゃんの素朴なギモン 365
- ・ LGBT だけじゃ、ない!「性別」のハナシ
- ・ 世界でいちばん透きとおった物語
- ・ くまのプーさん小さなしあわせに気づく言葉
- ・ 誰も書かなかった清少納言と平安貴族の謎
- ・ アンネ・フランク
- ・ あなたの勉強法はどこがいけないのか?
- ・ 世界史は化学でできている
- ・ 人生に迷わないためのお金の地図
- ・ 心に届く文章づくり
- ・ 小説の神様
- ・ 読むだけですっきりわかる日本地理
- ・ 建築の仕事につきたい!
- ・ 近大マグロの奇跡
- ・ 眠れないほど面白い『今昔物語』
- ・ 大河ドラマ 光る君へ
- ・ ラーゲリより愛を込めて

他、約 500 冊

☆今年度の図書部職員

全日制：◎中右先生、山城先生の2名

多部制：1・2部 ◎福田先生、田中先生の2名

3部 ◎津田先生、廣野先生、文谷先生の3名

以上、7名の職員と各クラスの図書委員さんに協力してもらい、運営していきます。

図書室を有効活用し、実りある高校生活を築いていきましょう。

